

# トイレ掃除手順

このポケットブックではトイレ掃除の手順と実践方法を解説しています。実習前の予習や確認などにご活用ください。さらに工夫できることや、気付けたいところがあれば、次のトイレ掃除で実践してみてください。

## 感染症予防

- トイレ掃除を実践する上、感染症の対策を呼びかけています。遵守事項を参考にしてください。
- ① 特異な風邪、熱があり、体調不良を感じたとき、手にケガをしたときはトイレ掃除を控えてください。
  - ② 汚物は、直接手で触れることなく、枝付ブラシか手袋をして汚物を除去してから掃除しましょう。
  - ③ 素手を強要せず、特に素足には下履きか長靴は使用しましょう。
  - ④ 薄手のゴム手袋、長靴は必ず準備し、必ず履き替えて使用しましょう。
  - ⑤ 掃除前には、プロテクトX1を指先まで念入りに塗り、必要に応じて作業途中でも塗ってください。
  - ⑥ 終了後は、石けんでの手洗いと消毒を必ず行いましょう。

## 1 備品を運び出す

掃除場所のトイレトーパーや汚物入れ、備え付けの掃除用具等の備品を一旦トイレの外に運び出します。  
\*その際、備品の個数や置いてある位置をしっかりと確認し、事前に置き場を決めておきましょう。また、ブラシのような柄の長いものは横にして置きましょう。



## 2 蛍光灯・換気扇をはすす

蛍光灯(カバー共)、換気扇を外し、きれいにします。  
蛍光灯だけはトイレ内を明るくするために、拭いてもとに戻しましょう。



## 3 水渡し・釣鐘をはすす

水渡し、釣鐘を外したら、バケツに入れて決められた場所に運びます。(一箇所を集約して汚れを落とします)  
\*この作業では、担当者が決まっている場合と、各班から担当者を決める場合があります。割り付け可能な水渡しフックを利用し、取り外しましょう。



## 4 大便器を洗う

## 5 小便器を洗う

## 6 洗面器の洗い方

## 7 水渡し・釣鐘の洗い方

## なぜトイレ掃除か?

### 1. 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実な一歩の近道が、トイレ掃除です。

### 2. 気付く人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気付く人になることが大切。気付く人になることによって、無駄がなくなる。その「気付き」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除です。

### 3. 感動の心を育てる

感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのには、その人が手と足と目を使い、さらに身を低くして一瞬懸命に目や耳を組んでいる姿に感動する。特に、人のいやがるトイレ掃除は最良の実践です。

### 4. 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になります。

### 5. 心を磨く

心を取り出して磨くわけにはいかないのが、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。

## 小便器を洗う

- ① 溜まっている尿石等をリンゴブラシで先に洗い流します。
- ② 水渡し周辺の固まりが残っている尿石を落とします。  
\*固まって落ちにくい場合は、ドライヤーやスクレイパー等を使わずに落とします。器具がぶつかるので、傷をつけないよう注意しましょう。
- ③ 「大便器を洗う」の②～⑥を参考に、それぞれの箇所をきれいにしましょう。



## 水渡し・釣鐘を洗う

- 水渡しと釣鐘は落とすように、ゴムマットと新聞紙を敷いて作業しましょう。
- <水渡し>
- ① スポンジ等で汚れを落とします。
  - ② 固まった尿石などの汚れは、スクレイパーや、マイナスドライバーを使用して落とします。  
\*傷つける恐れがあるので注意しましょう。



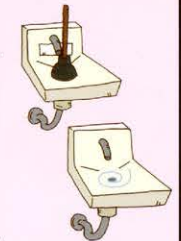
## <釣鐘>

- ① こびりついた錆を金ブラシで取り除きます。
- ② しつこい錆は、スクレイパーで落とします。場合によっては、ハンマーでたたいて落とします。
- ③ やスリで磨き終わったら錆止めを吹きかけます。(この作業時は地面を汚さないように新聞紙を活用しましょう)



## 洗面器の洗い方

- ① 「大便器を洗う」の②～⑥を参考に、それぞれの箇所をきれいにしましょう。
- ② 排水状況が悪いときは、ラバーカップを使用し、詰まりの原因となっているゴミや髪の毛を取り除きます。  
\*排水口をラバーカップで塞ぎ、水を流します。オーバーフロー(空気口)の穴も塞ぎ、一気にラバーカップを引っ張り上げます。  
\*ラバーカップを押し込めるときは、引っ張り上げるのがコツ。  
\*ゴミが買われず、水の流れを確認しましょう。濁りを巻いて、吸い込む音が聞こえたらOKです。



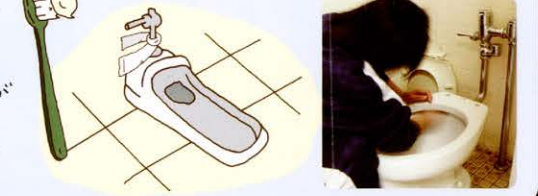
## 大便器を洗う

- ① 洋式も和式も、溜水を奥に送り込んだり、スポンジで吸い取ったりして掃除しやすい状態にします。
- ② スポンジに水を含ませ、大まかに全体の汚れを落とします。
- ③ サンドメッシュやナイロンたわしで汚れを落とします。
- ④ 栓の根元部分や隙間などの細かいところは、カネヨンを含ませた歯ブラシで磨きます。
- ⑤ 水洗レバーなどの金属部分は、濡れたタオル(ガラスダスターやカスリ)とカネヨンを併せて汚れを落とします。  
\*このときカネヨンの使いすぎに注意しましょう。また、決してサンドメッシュは使わないように!
- ⑥ スポンジで便器全体を洗い流します。  
部分的な汚れは、決めた面積を集中してこするがコツ。小さな重さは体への負担が軽いので、長時間集中して掃除ができます。  
時折、指で触って汚れが落ちているか確認したり、角度を変えて見るとよいでしょう。
- ⑦ 空いている手は周辺のものをしっかりと拭き、拭くことです。
- ⑧ スポンジでしっかりと磨くとキズやカネヨンが落ち光沢が出ます。
- ⑨ カネヨンは適量ずつ使い、使いすぎないように注意しましょう。容器の口元はいつもきれいにしておきましょう。



## 洋式の場合

- フタと便座を外して便器を磨きます。(終わったら元通りに装着しましょう)
- \*ひざをついて作業ができると、ごきりつ床を濡らさないようにしましょう。



## 壁の掃除

- スポンジの広い面を最大限に活用し、掃除します。
- ホースの先を壁面に沿わせ、水を流します。
- \*ホースの先を壁から離して流すと、飛び散る水が外への無駄な使用になってしまいます。
- \*水をかけてはいけない仕上げ材もあるため、事前に確認して行いましょう。



## 床の掃除

- ① たわしをつかみ、円を描くように掃除します。  
<ポイント> たわしを押しつけずに、空いている手を利に置き、重心をあげると作業効率が上がります。
- ② 排水口に向かってホースで水を流し、洗剤をよく洗い流します。
- ③ タオルを使って、床の水を拭きとります。  
\*タオルを床面に大きく広げ、両端の部分をつかみ、そのまま排水口に向かって一気に引き上げます。  
\*水気が残らないように、乾いたタオルでしっかりと拭き上げましょう。



## <タオルの絞り方>

四つ折りにし、手の甲が下で、両親指が上を向くようにして握り、内側に引っかけて絞ります。



## 道具を洗う

- バケツ3杯の水を用意します。(水の無駄な使用をしないようにしましょう)
- スポンジやたわしなどは、汚れがひどいものは念入りに洗い、次に使うときに匂いが残らないようにしましょう。



## <洗う順番>

- ① ドライバー、食物
  - ② 歯ブラシ、サンドメッシュ、ナイロンたわし
  - ③ スポンジ、たわし
- <ホースの片付け方> \*3人で行うとよいでしょう
- ① 1人はホースの水気をタオルで拭いていきます。
  - ② もう1人がホースを巻いていきます。
  - ③ 残りの1人が逆側の口を下向きに持ちます。  
\*下向きにすることでホースの中の水が流れ出ます。
- 1回目の巻き位置に印を付けておくと、全て同じ大きさに巻くことができます。

## 8 排水口の掃除

- ① 排水口のフタを取り外します。
- ② 詰まりの原因となるゴミや髪の毛などをスチールブラシやピンセットで取り出します。
- ③ 錆のある部分はヤスリで落とします。
- ④ 筒ブラシやシンチューブラシでしっかりと排水口の中をホースで水をかけながら掃除します。



## 9 壁の掃除

## 10 床の掃除

## 11 水渡し・釣鐘をもどす

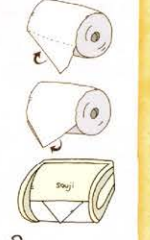
- 水渡しと釣鐘を元の位置に戻します。
- \*水渡しフックを用いた釘に、斜めにならないように注意しましょう。



## 12 道具の洗い方

## 13 備品をもどす・確認

- 掃除場所のトイレの外に運び出しておいた備品を元の位置に戻します。
- \*トイレトーパーは三角折りにして、ペーパーホルダーに案内します。(これは作業のしるしです)
- ① 床に水分が残っていませんか?
  - ② 備品は元あった場所に返されていますか?
  - ③ 窓(ドア)は閉められましたか?
  - ④ 電気は消しましたか?
  - ⑤ 班の表示紙は外しましたか?
  - ⑥ 石けんの手洗いは済みましたか?



## 14 感想発表

掃除場所のトイレで班ごとに感想を発表し合います。  
\*食事をする場合は、その席で発表し合ってもよいでしょう。

## 15 道具の返却

道具をまとめて、班長のメンバーで協力して決められた場所に道具を返却します。

